

The Management Data File

経営者データファイル

お名前..... 中田 寛  
 生年月日..... 1972年12月17日  
 大阪府生まれ  
 身長..... 178cm  
 体重..... 72kg  
 平均睡眠時間..... 5時間  
 平均起床時間..... 午前6時30分  
 趣味..... ゴルフ  
 乗っている車..... アコードワゴン

おススメ本..... 竜馬がゆく  
 家族..... 妻、子ども3人  
 今までに訪れた国..... 7カ国  
 座右の銘..... 意志あるところに道あり  
 購読雑誌..... 日経ビジネス  
 尊敬する人..... 坂本龍馬  
 今日の財布の中身..... 5万円  
 好きな食べ物..... 焼き肉  
 嫌いな食べ物..... なし

「無理」な開発に成功、  
大きな自信に

「まず、御社の事業内容を教えてください。」  
 中田：当社は、アルミ精密部品の機械加工を専門としています。主な分野は、半導体や液晶の製造装置、医療機器、航空機、産業用ロボットなど多分野にわたっていますが、一般の人には見えない部分で使われているものばかりです。

また、私が入社してから、アルミの超精密微細加工の技術開発も手が

け始めています。この技術は、例えば清涼飲料のアルミ缶に微細な穴を開け、飲料の品質がどのように劣化するかを調べるのに使われたりします。

超精密微細加工を手がけるようになった経緯とは。

中田：ある会社から50ミクロン（100分の5ミリ）の穴あけ加工を依頼されました。私は簡単にできると思っ引き受けたんですが、周囲に聞いたら「とんでもない」と（笑）。父である当時の社長に聞いたら「無理だからやめておけ」と反対さ

れました。でも、次期社長として自分の代で核となるものをつくりたいと考えていました。これをクリアできれば真の技術者集団になれるチャンスだと思っ、通常業務が終わったあとの時間を当てることを社長に約束してチャレンジすることにしました。

それが成功したのです。中田：1カ月ほど試行錯誤を繰り返して、なんとか成功させることができました。「とんでもない」ことを成し遂げることができたわけですか



1ミクロン(1000分の1mm)の精度が保証された3次元測定器。品質管理の要である

〈アルミ超精密加工のプロ集団〉

# 「技術」と「社員教育」でより強く!

経営者インタビュー  
INTERVIEW

アルミ素材に5ミクロンレベルの超精密加工を施すという、業界最先端の技術力を有するオンリーワン企業、中田製作所。同社を率いるのは元銀行マンの2代目社長・中田寛。日々、「社員の満足をいかに高めるか」を考え、技術開発や社員教育に熱をあげる。そんな中田に、経営哲学や求める人材像を聞いた。

## 中田製作所 代表取締役社長 中田 寛

なかた ひろし

社員に負荷をかけ、  
体質を強くする

「中田さんの経歴について教えてください。」  
 中田：学生時代は部活ばかりやっていました。中学・高校は野球、大学ではテニスです。父は工学部に進学することを望んでいましたが、経済学部に進みました。トレンディドラマに出てくるような、都会を颯爽と歩くビジネスマンに憧れていました（笑）。  
 しかし、カッコいい仕事と思って都銀に就職したんですが、泥臭い仕

ら、現場はものすごい自信を得ることができましたね。「森精機微細加工コンテスト」に参加して技能賞を受賞するなどして調子に乗ってきまして（笑）。自社の技術が社会から評価されるのが大きな喜びとなり、社員のモチベーションアップに繋がりました。その後、さらにそういった案件を受託し、一つ一つクリアして現在では5ミクロンのレベルまで加工できるようになっています。  
 超微細加工の売り上げは1%程度ですが、これから伸びる分野。しかも高度な技術レベルが求められますので、当社の成長には不可欠ですね。

「2代目として入社することは先代の社長から要請されたことですか？」  
 中田：ええ。自分には全くその気はなく嫌だったんですが、母親から何度も説得されました。子どもの頃は、工場で働く父親の背中に誇りを感じていたんですが、お金で苦労する姿を見ていましたので。母親から「お前が好きな道を歩めるのも従業員のおかげだよ」と言われてグラッと来ましてね。

決心してからは、もう人生が変わったわけですから、「ものすごくいい会社にしてやる！」と意気揚々と入社しました。でも、父親は使ってる「戻ってやった」という態度（笑）。1年間は、考え方の違い、方向性の違いがよくわかりました。

でも、ぶつかり合うことで理解も深まるんですね。  
 「2代目社長としての課題はどういったことでしょうか。」  
 中田：私は、創業時のようなお金の苦労はしたことはありません。というより、してはいけないと思っています。その為には、社員の満足度を高めるためにどうするか、ということが一番大きな課題ですね。その一つとして、超微細加工に力を入れて技術力を磨いているわけです。  
 また「記念日休暇制度を導入しました。結婚記念日でも、子どもの誕生日でも何でもいいんですが、一人一日決めてその日は絶対に休んでもらう。また、1回でもそれが守れなかったらこの制度はやめる」と宣言しています。つまり、この制度で二人のた

めに全員が協力しようという風土をつくり、決め事をクリアするメリハリのある会社にしたという狙いがあります。教育も重視して、研修などに行きたいという人には、職場に理由をきちんと説明してドンドン行ってもらおうとしています。  
 他には「改善提案」という制度も実施しています。これは、あらゆることの提案を社員が用紙に書いて提出し、リーダー会議で議論して良いと思う提案を採択する、というものです。主な狙いは業務改善ですが、教育の一環でもあります。実際に提案した内容についての評価をフィードバックされることで、いかに自分は一面でしか物事を見ていなかったかに気づくわけです。仕事以外のこういった活動は負荷になりますが、シンドくなるほど強くなる、それが会社の体質を強くして、最終的には社員の満足につながると思っ続けています。

周囲の幸せが自分の幸せ、  
と考えられる人

「将来のビジョンを教えてください。」

中田：売り上げは伸ばしても、会社の規模を大きくしたいとは考えていません。強い会社にしていきたいですね。そのためにも新たな技術開発に取り組み、社員教育に力を入れていきます。人間は、力がついてしまうと人気が出ると思うんですけど、うもの。それを戒めるのは教育しかありません。

私は会長と違ってあまり怒りませんが、年に2回くらいスコク怒ることがある。嘘を言った時や、図に乗った社員が仲間をバカにした時、先輩に対して敬意のない態度に



Profile 中田 寛  
(なかた ひろし)

1972年、大阪府生まれ。同志社大学経済学部卒業後、あさひ銀行(現、りそな銀行)に就職。上福岡東口支店(埼玉県)に配属、秋葉原支店を経て、4年後、中田製作所に入社。超精密微細加工やネット営業の導入など新機軸を打ち出す。05年、代表取締役就任。

出ると非常に腹が立ちます。人のためにどうするかを考えないのは一番ダメ。そういうところを真っ先に変えていきます。

「中田さんは、どんな人材と働きたいですか。」

中田：まずは、やる気をもって自己実現を図ろうとする人ですね。ただし、自分のことだけ考える人はNGです。周囲が幸せになることが自分の幸せにつながる、と考えられる人がいいですね。団体競技をやったことがある人ならすぐわかってもらえると思います。団体競技では周りの選手のすることを考えてプレーしないとチームは勝てません。

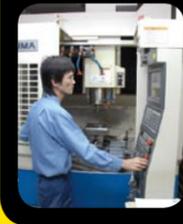
私が社長に就任した当初は、親や社員への恩返し気持ちは自分のモチベーションになりましたが、いつ

しか仲間である社員の喜びが自分の何よりの喜びになりました。一緒に働いている仲間が「こんないいことがあった」というのを聞くと、最高に嬉しいですね。

「最後に、学生にメッセージをお願いします。」

中田：学生時代は何かに打ち込むことが大切。そして、打ち込んだ後の結果をしっかり受け止めて、次をどうするかを考えることがもっと大切です。チームが試合で勝てなかったら、どうして勝てなかったのかをみんんで考えて、出した課題を一つ一つ克服する。この大切さをぜひ学んで社会に出てほしいと思います。大企業に就職するのもいいと思います。が、新人として組織を改革する気概で入ってほしいですね。

一緒に働きたい仲間が「みんなすごいがあった」とSNSを聞くと、最高に嬉しくなります。



微細加工には機械を操る技術者の力も欠かせない。

会社概要 株式会社中田製作所

所在地 ● 大阪府八尾市上尾町5-1-15  
 創業 ● 1977年(昭和52年)1月 資本金 ● 1000万円  
 事業内容 ● アルミ精密部品の超精密切削加工、企画提案型のアルミ精密部品関連の設計、極微小径穴加工、微細溝加工等の微細加工、三次元測定器、表面粗さ測定器の検査データ作成業務  
 従業員数 ● 25人(パート含む)  
 URL ● <http://www.nakata-ss.co.jp/>



就職情報は  
コチラ